

# 西大和つうしん

2015年 10月号  
No.400



蝶ヶ岳から穂高・槍方面

2015年8月24日

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

# 西大和つうしん

第400号(2015年10月号)

## 【目次】

10月度山行計画.....	1
10月度・11月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
<b>山行報告</b>	
・自主山行 《8月15~16日》 中央アルプス 恵那山(今井)	5
・自主山行 《8月22~25日》 北アルプス 蝶ヶ岳・常念岳(松浪)	6
・自主山行 《8月29日》 大峰の山 大原山・大天井ヶ岳(竹川)	7
・訓練山行 《9月2日》 京都大原 金比羅山《Y懸尾根》(今井)	8
・準備山行 《9月5日》 吉野の山 百貝岳周辺(亀井)	9
・例会山行 《9月6日》 吉野の山 百貝岳周辺(竹川)	10
・訓練山行 《9月13日》 六甲の山 地獄谷(橋本)	11
・例会山行 《9月13日》 大峰の山 稲村ヶ岳(的場)	12
運営委員会だより(8/22・8/28)	13
室内例会だより(8/22).....	15

## 10月度例会山行計画

～加西アルプス・展望と岩稜歩きを楽しみましょう～

### 例会山行2

◆10月4日(日)◆播磨の山：《善防山から笠松山》

〔L：田中初/緊連： 〕

【集合場所】上牧P場 AM7:00

【コース】善防公民館P～(10)～登山口～(45)～善防山～(25)～吊橋～(45)～笠松山～(10)～東屋～(20)～大柳ダム～(20)～馬の背～(25)～分岐～(20)～善防公民館P

【帰宅予定】上牧P場(17:00)

～ブナ林の美しい近江・若狭国境の山～

### 例会山行1

◆10月11日(日)◆近江・若狭の山《百里ヶ岳》(931m)

〔L：勝尾/緊連： 〕

【集合場所】上牧町役場前駐車場 AM6:00発

【コース】小入谷越(標高500m)～(1:30)～シチクレ峠～(0:25)～県境尾根分岐～(0:40)～百里ヶ岳(931m)(0:30)～県境尾根分岐～(0:30)～根来坂峠～(0:40)～焼尾地藏～(0:40)～大倉谷出会～(0:20)～小入谷バス停

【歩行時間；約5時間】

中尾根道からゆっくり登り  
アルペンの展望を楽しみましょう！！

例会山行1

◆10月18日(日)◆鈴鹿の山：釈迦ヶ岳(1,092.2m)～猫岳(1,058m)  
〔L：橋本/緊連： 〕

【集合場所】上牧役場駐車場 AM6時30分

【コース】朝明キャンプ場～鳴滝コバ～大蔭～釈迦ヶ岳～猫岳～ハト峰峠～  
林道コース～朝明キャンプ場

《歩行距離；8.5km / 歩行時間；約5時間》

【帰宅時間】17時30分頃

自主山行

台高の山

◆10月16日(金)◆台高の山《迷岳》

〔L：藤井/緊連： 〕

【集合場所】上牧町役場前 AM6：00集合

【コース】奥香肌スメール～(2：00)飯盛山～(2：40)迷岳～

(1：00)唐谷分岐～(1：20)林道分岐～(0：50)登山口

【歩行時間8時間】

～大峰最後の紅葉をテント泊で～

◆10月30日(金)夜発～11月1日(日)：テント泊◆大峰奥駈道Ⅲ：

〔L：藤本/緊連： 〕

【コース】(～：登山道 / 一：林道歩行 / =：車移動)

10/30(金) 《往路》各自宅出発＝行者還隧道西口〔23:30までに到着  
(車中泊)

10/31(土) 行者還隧道西口(水場)〔5:30出発〕～(60)～  
奥駈道出合～(70)～聖宝ノ宿～(50)～▲弥山  
(水場)～(30)～▲八経ヶ岳～(20)  
～弥山辻～(100)～船ノ埜～(15)～七面山分岐～  
5)～

楊子ノ宿(水場)〔15:00着〕(幕営+避難小屋泊)

【標準歩行時間】6:00【予定総所要時間(休憩等を含む)】9:30

11/01(日) 楊子ノ宿〔6:30出発〕～(90)～孔雀覗(水場)～  
(25)～椽ノ鼻～(45)～▲釈迦ヶ岳～(35)～  
深仙ノ宿(水場)～(35)～太古ノ辻～(90)～  
前鬼小仲坊(水場)〔15:10着〕一(40)一前鬼林  
道ゲート〔16:00着〕

【標準歩行時間】5:55【予定総所要時間(休憩等を含む)】9:30

# 西大和山の会 カレンダー

10 月		11 月	
1	木	1	日
2	金	2	月
	室内例会 (PM7:30~)		
3	土	3	火
4	日	4	水
	◆例会山行2加西アルプス(田中初)		
5	月	5	木
6	火	6	金
	県連理事会 (19:30~)		
7	水	7	土
8	木	8	日
			◆例会山行1棧敷ヶ岳(的場)
9	金	9	月
10	土	10	火
11	日	11	水
	◆例会山行1百里ヶ岳(勝尾)		
12	月	12	木
13	火	13	金
14	水	14	土
15	木	15	日
			◆例会山行1犬鳴山(辻)
16	金	16	月
	◆自主山行迷岳(藤井)		
17	土	17	火
18	日	18	水
	◆例会山行1釈迦ヶ岳(橋本)		『西大和つうしん』12月号原稿締切
19	月	19	木
20	火	20	金
21	水	21	土
	『西大和つうしん』11月号原稿締切		
22	木	22	日
			◆例会山行1大普賢岳(林)
23	金	23	月
24	土	24	火
25	日	25	水
	交流山行 大普賢岳(藤本)		室内例会 (PM7:30~)
26	月	26	木
27	火	27	金
28	水	28	土
	室内例会 (PM7:30~)		
29	木	29	日
30	金	30	月
	10/30~11/1		
31	土		
	◆自主山行大峰奥駈道Ⅲ(藤本)		

## 山行・行事等参加メモ

入会 順		10/2 室内例会	10/4 加西ア ルプス	10/1 1 百里ヶ 岳	10/18 釈迦ヶ 岳	10/25 交流山 行	10/16 迷 岳	10/22 - 10/23 大杉谷	10/30 -11/1 大峰奥 駆
1	(窪田)								
2	都築	○							
3	藤井	○	○	○	○	○	LO	○	○
4	(石田)								
5	多賀	○		○		△		○	○
6	田中悦	○	○	○車					○
7	島崎	○	○	○車	緊	○	○	○	
8	田中初	○	LO	○					
9	村田		○						
10	林	○	○			LO			
11	辻	○	○			緊	○	緊	○
12	勝尾	○	○	LO	○	△			
13	藤本	○	緊		△	○	緊		○
14	杉村	○	○	○		△	○		
15	高橋	○	○						
16	玉越								
17	的場		○		○				
18	杉川	○			△	○			○
19	阪口	○	○				○		○
20	橋本	○	○		LO	○			○
21	今井	○	○			○			○
22	亀高	○			○	△			○
23	松浪	○		○					
24	亀井	○				○			
25	船江	○			○				
26	野路	○	○		△			○	
27	竹川								
28	森川	○		○		△			
29	中	○		○					
	合計								

## 自主山行

中央アルプス：《恵那山(2,191m)》

【日 程】 8月15日(土)～16日(日)

【参加者】 L：藤本・杉川・今井 / 中武(奈良労山) (計4名)

【コース】

8/15：黒井沢出合〔林道ゲート〕(10:26)～登山口標識(10:53)～避難小屋(11:09/19)～野熊ノ池避難小屋(12:50/13:16)～野熊ノ池(テボ用テント1張営)(13:18/54)～水場(16:23/29)～頂上小屋(15:56/16:05)～水場(16:23/29)～野熊ノ池(17:40)〔幕営〕

8/16：野熊ノ池(7:10)～避難小屋(8:38)～登山口標識(8:53)～黒井沢出合(9:15)

薬師岳縦走が悪天で中止となり、天気回復する土、日にいつもお世話になっている県連教育部長のN氏も加わり恵那山へテント泊山行となる。

早朝に生駒を出発、途中食料や水を確保して黒井沢出合駐車場に10時頃到着。恵那山登山口看板横のゲートを潜り、静かな林道を行くと登山口標識が現れ、沢沿いの道へと進む。心地良い山道を行くと目前に廃屋が現れる。廃屋と思いきや避難小屋と書いてあった。ここで小休止。その後、暫く歩き、登りが始まる。徐々にメンバーに遅れだす。ザックの重さがこたえる。急な山道に横たわる大きな倒木を避けて通るにもザックの重さで思うようにバランスを取れず苦労する。また一面、背丈程の笹原の中の登山道は刈り込んで有るが、散らばった笹に足を取られそうになる。滑らないように気を付けながらやっと休憩してるメンバーに追いつく。メンバーにテントのフライ、ガスを持って頂き助けて貰う。無駄な荷物を多く持って来た事に気付く後悔しきり。木立の間に野熊ノ池避難小屋らしき姿が見えた時はどれだけ安堵したことか。

N氏の指示でFさん、Sさんがテント場確認へ。避難小屋から少し先に、湧き水の野熊ノ池が有り、湖畔に木の素敵なテーブルまで有るとの事。早々に移動。テボ用テント1張を設営し、池の清水に飲料を沈めて山頂へ。ザックが軽くなり足も軽くなるが相変わらず眺望の無い中の笹原に行く。登山道脇に水場が現れる。冷たい水が溢れ出ていた。美味しい水で喉を潤し、元気を貰って先へ進む。綺麗なトイレの建物が見え、その先に煉瓦色の洒落た山頂小屋が有った。山頂小屋横の大きな岩に順番によじ登り、各々好きなポーズで記念撮影。岩の上からやっと展望が得られた。



山頂はもう少し先らしいが誰も山頂へ行こうとは言わずテント場へと戻る。テント場に帰り2張目を設営。夕食は個人食。それぞれが思いの食事を楽しみ貸切のテント場で至福の時を過ごす。翌朝は2時間程で黒井沢出合駐車場に下りた。今回の山行も反省材料の多い山行であった。

(記：今井)

## 自主山行 北アルプス 《蝶ヶ岳～常念岳》

- 【日程】8月22日～25日  
 【参加者】L 藤井・SL 田中悦・松浪  
 【コース】8月23日上高地出発（6：20）～ 明神（7：14）～ 徳沢（8：15）～ 長堀山（12：9） 昼食 出発（12：46）～ 蝶ヶ岳頂上（14：20）～ 蝶ヶ岳ヒュッテ着（14：40）  
 8月24日 蝶ヶ岳ヒュッテ出発（6：25）～ 常念岳着（11：35） 昼食 出発（12：46）～ 常念小屋（14：50）  
 8月25日 常念小屋出発（6：00）～ 一の沢着（9：18） タクシーで「ほりーでーゆ」 四季の郷 Ⅱ JR豊科～松本出発（15：00）  
 高速バス～大阪

「何ちゅうメンバーや！！」の三人で蝶ヶ岳～常念岳へ行ってきました。8月22日さわやか信州号で出発。

上高地から梓川沿いに明神岳を左手に見、朝焼けの道を行きかう人と挨拶を交わしながら明神館のソフトクリームの看板をチラツとながめ山道に入る。いきなりの急登で始まる山道は、行きかう人もほとんどない樹林の中の道は適当に日を遮ってくれる。ジグザグ道が続くかなり長くて急な登りである。徳沢から長堀山へ。三角点のある長堀山で昼食。ここからは傾斜が緩んでくる。

樹木の中を登ると平坦な草原が現れる。右手に入ると、ちょっと遅かりしかな～の高山植物に包まれた妖精の池にでる。池の中では美女ではなく、多数のオタマシジャクシが泳いでいた。森林限界を抜け出すと、大景観が開けるハイ松の中に開かれた道を進むと蝶ヶ岳山頂である。蝶ヶ岳から見た北穂 涸沢岳、奥穂 槍ヶ岳、この大観を忘れることはないと思う。蝶ヶ岳ヒュッテで乾杯。蝶ヶ岳の名は、雪形からきているという。春になって岳の雪が急速に消えていくとき、黒い山肌に白い蝶の姿が現れるのでこの名がつけられたという。

24日5時半ご来光、ただただ感激。ヒュッテに別れを告げ、見え隠れする槍穂高の展望を左手に蝶ヶ岳を過ぎると、道が曲がっていて結構変化がある。思いもよらず雷鳥に出会った。少し下ると常念岳がものすごく大きく高く遠くに見える。花崗岩の斜面を登る。ジグザグの急登の登り道は、砂礫から岩礫に変わり大きな岩の積み重なった常念岳に着く。山頂には祠がある。展望が素晴らしい。ここで昼食をとる。やや急な道を一気に下る。広い鞍部に赤い屋根の常念小屋が建っている。今日はここに泊まる。「乾杯」

25日 5時40分 雲の中に真っ赤なご来光。今日は一の沢まで一途に下る。最後の水場、胸突き八丁、笠原沢、烏帽子沢、王滝ベンチ、山の神、一の沢登山口、予定よりずいぶん早く着く。タクシーで「ほりーでーゆ 四季の郷」へ。ひと風呂浴びて三度目の乾杯。青春のほろ苦さが残るJR大糸線豊科駅から松本を経て高速バスで大阪へ。

台風背中を押されつつも一度も雨具を広げることもなく、二度のご来光、穂高連峰、槍ヶ岳の大観、本当にめぐまれた山行でした。（記：松浪）

## 自主山行 大峰の山 《大原山～大天井ヶ岳》

【日 程】8月29日(日) 晴れ時々曇り

【参加者】L 亀高・藤井・勝尾・杉村・竹川

【コース】洞川温泉P 8:00～展望台 8:25～登山道分岐 8:34～登山道分岐 10:12  
～大原山 10:30～岩屋峰 11:40(昼食)～大天井ヶ岳(1439m)～五番関登山  
口P 14:40～母子堂 15:54～亀清鮮魚店 16:28～洞川温泉P 16:45

7月の初級教育の地図読み山行が急用のため参加できず、残念と思っていたところ、8月の例会でその山行報告の鮎の塩焼きと温泉の話聞いて思わず亀清の名前をメモし、またの機会に参加したいと思っていたところ、まさにその再現山行が……早くも実現。洞川温泉Pを出発し遊歩道を30分ほど進んだところに、左側にロープの柵があった。直進しても大原山の看板があったので迷わず直進する。足の踏み場もない草の茂みのなかをアザミに刺されながら地図とGPSを頼りに登山道へと通じると思われる道を探し歩く。まよいと進むを幾度か繰り返したが道らしき道には繋がらずロープがあった分岐まで戻ることにした。その間1時間40分。その後順調に進む中『道迷い？体験も楽しめたね』と話しながら和やかに大原山～岩屋峰～大天井ヶ岳に向かった。大天井ヶ岳から5番関Pに下りそれから先はアスファルトの車道と遊歩道を歩くこと2H。とても長く感じられた。時間が押してきていたのでせっかく楽しみにしていた亀清の鮎がもしかしたら食べられないかもしれないと心配しながら速足でがんばって鮎をめざした。結果なんとか間に合って願い通り鮎を食べる事ができた【子持ちでなかったのが残念(～～)】やけどおまけの魚料理【名前は不明】も付けてもらい美味しく頂いた。亀清は例会の時に聞いたイメージそのもので私の期待を裏切らなかった(^^)

今回参加したなかでスタート時点での道迷いというアクシデントにあいました。その時私は何もすることが出来ず、ただ他の先輩方に付いて行く事しかできませんでした。今は何も分からない私ですが先輩方に色々な事を教えて頂き少しずつ進歩して一歩でも先輩方に近づけるように頑張っていきたいと思っています。

(記：竹川)





## 岩稜歩行講習会 第2回

## 京都大原の山：《金毘羅山（Y懸尾根）》

【日 程】9月2日（水）曇り時々晴れ

【講 師】中武佳史（奈良労山・県連教育部長）

【参加者】L：藤本・島崎・橋本・今井・野路（計6名）



西大和教育部主催の岩稜歩行講習会第2回。第1回と同様県連教育部長のN氏を講師にお迎えし、怪しい空模様の中、前回同様金比羅山のY懸尾根に向かう。

今回、初めてのNさんを含め生徒5名。江文神社前での説明も手短かに終え早々に岩場前に移動。岩場周辺は少し濡れていた。N氏よりロープをセットする間に装備の準備をするようにとの指示が有るが慣れないハーネス装着にひと苦勞。今日はY懸ノ頭ま

で行く、とのN氏の言葉に雨が降らない事を願う。前回同様、N氏が説明をしながらお手本を実演。フィクスロープにプルーシックで自己確保して、まずは空身で登り、下降してくる。次はザックを背負ってと、少しずつ高度を上げて登下降を繰り返して練習。難しい下降の場所ではスタンスの取り方を一人一人丁寧な指導をして頂いた。前回クリア出来なかった岩場も今回はクリア出来た人もあった。そして

初フィールドのY懸ノ頭まで全員登り、今日

の目標を達成出来た。記念撮影をして下山。途中、殆ど垂直の岩場の前でホワイトチムニーと教えて頂く。心配した雨も降る事無く、其々に成果を上げられた充実した岩稜歩行講習会だった。

（記：今井）



## 県連「広域搜索訓練」準備山行 吉野の山：《百貝岳周辺》

【日 程】 9月5日（土）晴れ時々曇り

【参加者】 西大和L：藤本・今井・亀井 / CL：藤田（JAC：県連救助隊隊長）・  
SL：中武（奈良労山：県連救助隊副隊長）・坂口（JAC）（計6名）

【コース】 黒滝村簡易浄水場（11:00）～西行庵（12:10/30）～分岐（13:00）～  
百貝岳（13:25）～鳳閣寺（13:55）＝＜車＞＝地蔵峠（14:05）

黒滝村簡易浄水場へ車をデポし、西行庵の道標に従って、足元の悪い鬱蒼とした  
細い沢沿いの道を登る。30分程歩くと分岐が有



りこれを直進し、少し登った切り株に第1のテ  
ーピングする。西行庵へは分岐を左折し、小  
さい丸太橋を渡り暫く行くと、沢の上に杉の  
枝や倒木で歩きにくくなり、足を踏み外さな  
いよう十分気をつけて登っていくと、急に明  
るくなり山々の杉林が切り倒され、替わりに  
桜の植林地に成っていた。桜は鹿よけの柵も  
され個人名の木札も付けられ将来的には吉野  
桜の名所の一端になると予測される。

その山頂にかすかに建物が見え、これを直  
登する。足が滑るので蹴り込み、木の根っこ  
を探しながら喘ぎ々西行庵までたどり着く。  
少し手前で2カ所目の印付けをする。

東屋で「この急登は絶対下れないよね。回  
り込んだ道を歩くね。」とか搜索時のお話を伺  
いながら昼食にする。

百貝岳へ向け木段を登ると「ここから脇川への分岐と思う所迄、足早に先頭を行  
け。」との事で先頭を歩かせてもらって止まっ  
ていると、例のごとく理由を聞かれ、未だ未  
だ詰めが甘いと思い知る。その分岐を南下し  
少し下った所に3カ所目の印付けをする。

我々は直進する。百貝岳目指して又登り。  
山頂近くに4カ所目の印付けをする。

木段を南下すると立派な理源大師の聖宝が  
有り、鳳閣寺を出ると、門前迄迎えに来て下  
さっていて、地蔵峠で県連救助隊長と合流す  
る。

今回は搜索訓練の準備手伝いであったが、滅多に出来ない良い体験をさせてもら  
って良かったと感謝です。有り難う御座いました。（記：亀井）





## 例会山行 県連広域搜索訓練 《百貝岳付近》

【日 程】9月6日（日）曇り時々雨

【参加者】L 藤本・SL 杉川・島崎・田中（悦）・辻・亀高・今井・杉村・亀井・竹川

【コース】地蔵峠（10：52）～分岐（11：17）～ドウトコ山（11：50）～昼食（12：34）～トンネル東口（13：03）～地蔵峠（13：25）

今回県連の広域搜索訓練に参加させて頂きました。当日は朝から雨が降っていたが合同の訓練山行であるため雨天決行でした。西大和山の会をはじめ奈良県勤労者山岳連盟から山岳会5クラブが参加した。黒滝村地蔵峠に現地対策本部を置いて集合し、全員によるミーティングがあり搜索内容の説明があった。内容は『登山者が黒滝村へ行って帰ってこない』という設定で、3パーティーに班分けして各パーティーがそれぞれ決められた場所に貼られた黄色いテープ（遭難者）2×3か所を時間内に搜索して発見次第現地対策本部に無線連絡する。という設定のもと各班一斉に搜索訓練に入った。操作のポイントとして迷い込みやすい尾根を見極める（分岐がポイント）。道標があるから間違いないという発想はダメ。主に南側斜面を搜索する。という観点から搜索したが、結果時間内に発見することが出来ず、対策本部に戻る事となった。発見できなかった問題点として、班列の前部と後部がばらけてしまい、メンバーを探すのに時間を費やした。搜索のポイントにあたる場所には行ってはいるがその場所から一步踏み込んだ位置での搜索を怠った。反省点として役割分担や搜索し易い人数割等、事前の綿密な打ち合わせができていなかった。通常の山行とは全く違う目的での搜索山行の場合、事前の細かい打ち合わせや真剣な心構えが必要であると痛感しました。



（記：竹川）

山行報告県連登山学校（ハイキングリーダー学校）  
岩場・ガレ場歩き 六甲の山 地獄谷～ピラー・ロック

【日 程】 9月13日（日）曇りのち晴れ

【参加者】 L中武（講師 奈良芳山）・杉川・亀井・橋本

【コース】 芦屋川（8：47）高座の滝（9：15）～地獄谷（10：00）～（12：00） A懸・B懸・C懸の間のピークにて朝食（12：55）～ピラー・01） ロック（13：10）～高座の滝（15：50）～芦屋（16：25）

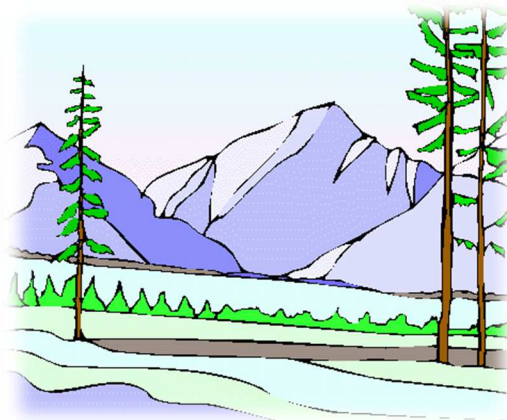
地獄谷～A懸を経てピラー・ロックまで行き岩場・ガレ場歩きの訓練を行う。座学の時に使用するかどうかわからないがアイゼン、あればピッケル持参と伝えられる。

高座の滝から地獄谷に入りアイゼン装着で歩行するか相談。谷を登るのも不安なのにアイゼンを付けての歩行となるとまた一段と難しくなるのではないかと不安だったが、このような体験はできないのではと受講生二人思い直しアイゼン装着するようになった。安全確保の為簡易ハーネスを着ける。まずは岩場では滑らない様必ず足裏をフラットに置き歩行する事や、狭い足場を前爪2本で確保する方法など教わりながら登る。

Kさんは、8本爪のアイゼンでかすかにかかると前爪をうまく使い登る。残念なことに私は6本爪のアイゼンだったので爪が使えず慎重に足場を確保しながら上る。緊張で体が硬くなるが無事登り切ることが出来た。

ピラー・ロックでは、ガレ場の歩き方を学ぶ。足をハの字にする、横歩き、横向きで足を交差しながら上がる方法など教えて頂く。又砂走りのように下る練習、スキーするときのように前傾姿勢を保ちながら滑るように下る練習など何度か上り下りを繰り返す。転びながら何回かチャレンジしたがうまく出来なかった。機会があれば再度チャレンジしたいと思う。（記：橋本）

\*\*\*\*\*



## 女性部山行 大峰の山：《稲村ヶ岳》

【日 程】 9月13日(日) 曇り時々小雨

【参加者】 L 今井・SL 島崎・田中(悦)・勝尾・多賀・杉村・玉越・亀高・野路・的場

【コース】 母公堂(8:18)～法力峠(9:25/28)～山上辻(10:48)～頂上(11:40/50)～大日山(12:12)～山上辻(12:45/13:12)～法力峠(14:15/20)～母公堂(15:07)

私にとっては今年2回目の稲村ヶ岳の山行。私事ですが、何回かこの山に登って、足首の捻挫や雪で大日山の手前で引き返したことなど、苦い記憶だけはよく覚えています。

母公堂の前の駐車場は満車なので、少し過ぎたところに車を置く。準備を整えて登山開始。法力峠までは歩きやすい登山道である。ここで小休止。危険なところはないので話しながら登っていたのと、何回も来ているので、登山中の印象が少なく、書くことが思い浮かばない。時折、早く登った人とすれ違う。途中からガスが出てきたと思ったら小雨がパラパラと降るがしかし、すぐにやむ。

何箇所か崩れた登山道を過ぎ、山上辻に到着。数人の別の登山者がいる。時間がまだ早いので、頂上まで往復してから、昼食にすることに。ここからは、標高が1700mあまりと少々標高のある山なので、のんびりとした雰囲気のある山とは趣きがちょっと違って来る。キレットまでくると、山深い峡谷という感じがする。

リンドウやトリカブトなど青い花が目につく。ネットで他の山行記録を見ると、この時期でも結構いろいろな花があるようである。5月に登ったときもシャクナゲをはじめ、イワカガミなどの花があって、稲村ヶ岳は年中(冬は別として)花の多い山であることを今回はじめて発見した。「花の百名山」「女人大峰」と呼ばれるのも頷ける。

頂上では何も見えず一面ガス。すぐに下山。景色は見えないが、こんな天気でも、落ち着いた登山ができた。人にもいろいろな表情があるように、山にも季節、気候によっていろいろな顔を見せてくれる。

今日の登山は、10名と比較的多いが、班分けするほど難しい山でもなく、10名のパーティ登山としてはまとまった登山でよかったのではないかと。私は、山に登ると、心身ともに清らかになったような気がしていますが、まだまだ登り足りないという声が聞こえてきそうです。

帰りは洞川の子持ち鮎の希望があったが、お客さんが満員で断念しました。5月に見そこなった「オオミネコザクラ」と、今回の「子持ち鮎」と次回ここへ来る楽しみができました。

(記：的場)



## 運営委員会だより

[日 時] 2015年8月22日(土) 13:00~14:30 事務所  
[出席者] 島崎・辻・的場・藤本・勝尾・杉村・今井・橋本  
議 題 山行管理者を設置するにあたって下記項目の改定及び見直し

### 1. 規約

- ・ 第3章 第7条 ⑧  
原則とし毎月2回の例会山行の実施に訂正。
- ・ 第4章 第9条  
「山行管理者を設ける」を追加する
- ・ 第5章 ③  
会費の改定 一人月額700円 夫婦会員2人月額1,200円、  
家族会員2人以上600円とし会費の一部を遭難対策基金とし今  
後積み立てるに改定

### 2. 山行規定

- ・(1) 項 山行計画書はすべての山行について、必ず事前に会長、山  
行管理者、緊急連絡先に提出するに。
- ・(2) 項 一泊以上の単独登山は、会として原則禁止。
- ・(3) 項 前日午後6時インターネット「山の天気」にて60%以上  
は原則中止。最終的にリーダーに任せる。(閲覧先はHP  
にリンクさせる)
- ・(4) 項 「遭対基金二種」を現名称「遭難対策特別基金」に訂正。  
一口以上加入すること。一泊以上の山行する場合は5口  
以上加入すること。
- ・(5) 項 計画に無理があったり、特に危険であったり不備な点か  
あれば、山行管理者より、変更を求めることがある
- ・(8) 項 「自主山行の場合」を「個人山行」に事故後の処理対応を  
事故後の事務処理に変更。

### 3. 車両利用に関する規定

- ・ 故障についての項目の但し欄にタイヤ破損追加。山行参加者全員  
にも費用負担の義務があると変更。
- ・ レンタカー使用の山行の場合運転手に同乗者一人2,000円謝礼  
として支払う。

### 4. 緊急連絡規定は県連に確認事項もある為、後日見直しを行う。

以上現規約、規定から削除される項目もある。

改定版は、後日皆様に提示されます。

[日 時] 2015年8月28日(金) 19:00~21:30 事務所  
[出席者] 島崎・辻・藤本・勝尾・杉村・今井・橋本  
議 題 8月22日議案の会規約及び山行規定改定の最終確認

## 1. 規 約

- ・ 第 5 章 ③会費の支払いは、毎年 4 月～9 月の期間に入会した会員は、入会と同時に入会した月より 9 月分まで一括して支払う。  
会員の支払い月は 4 月・10 月とする。(6ヶ月分前納)と変更
  - ・ 第 4 章 第9条 運営委員会は次の通りとする。  
会長 1名 副会長 若干名 事務局長 1名  
会計・会報部長・教育部長・自然保護部長・女性部長・山行管理者に改定
- ## 2. 山行規定
- ・(3) 項 現行のままとする。
  - ・(6) 項 自主山行・個人山行の場合事故の責任は負わないものとする。但し、事故後の事務処理対応は行うに訂正。
- ## 3. 車両利用に関する規定
- ・ レンタカー使用の場合、運転手への謝礼は「道路運送法」に抵触する可能性があるため、山行規定に明記しない。
- ## 4. 緊急連絡体制
- ・① 項 緊急の事態が発生し連絡がとれない時は、緊急連絡者及び運営委員に対応を一任すると訂正。

\*\*\*\*\*

### 下記の件について検討、決定

#### ★ 山行管理者の役割

- ・ 「西大和山の会山行規定」に沿って計画されているか管理する。不備があると思われる計画についてはリーダーに変更、見直しを求める。また安全な山行ができるよう参加者個人には教育部からアドバイスするようにしていく。
- ・ 来期より例会山行のスケジュール立案、まとめ、管理を行う。

#### ★ 緊急連絡先は、すべて会長、山行管理者とする。両者共できない場合には両者が他の人に依頼する。

#### ★ 共同装備の管理は、教育部が行う。

- 《役割》・ 共同装備の安全点検
- ・ 共同装備の使用状況の管理。

#### ★ テント購入費用について（2張対象）

使用料は 1 泊一人 1,000 円とし山行参加者全員で負担する。

(例)参加者 10 名の山行で 2 張りを 5 人で使用の場合、使用料 5,000 円を 10 名全員で負担する。期間は 2015 年 10 月 1 日より実施し、償却が完了するまで。使用料管理は教育部が行う。

遭難対策基金より借り入れしての購入となった為、今回は特例とし受益者負担とし早期に返金を目指す。今後共同装備品は会費で購入する。  
(記 橋本)



## 室内例会だより

【日 時】2015年8月22日(土) 14:50~16:30 事務所

【出席者】都築、藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、村田、辻、勝尾、藤本、杉村、的場、杉川、今井、亀高、亀井、船江、竹川、橋本

### 1. 山行案内

- 8月22日(土)~25日(火) 自主山行 北アルプス《蝶ヶ岳~常念岳》  
L 藤井
- 9月 6日(日) 例会山行1 奈良県連主催・広域捜査訓練吉野《百貝岳》  
L 藤本
- 9月13日(日) 例会山行2 女性部 大峰の山 《稻村ヶ岳》 L 今井
- 9月17日(木)~21日(日) 自主山行 北アルプス《槍ヶ岳~穂高岳》  
L 的場
- 9月26日(土)~27日(日) 例会山行1 (テント泊)北陸の白山《御前峰》  
L 藤本

### 2. 山行報告

- 7月19日(土) 例会山行2 湖東の山 <伊吹山> L 辻 11名
- 7月25日(土) 初級教育山行第1回 大峰の山 <岩谷峰> L 藤本 4名
- 7月26日(日) 岩稜歩行訓練 第1回 京都大原の山<金毘羅山Y懸尾根>  
L 藤本 10名 講師 中武佳史(奈良県連教育部長)
- 7月30日(木)~8月3日(月) 夏山例会山行 北アルプス<表銀座コース>  
L 藤井 7名

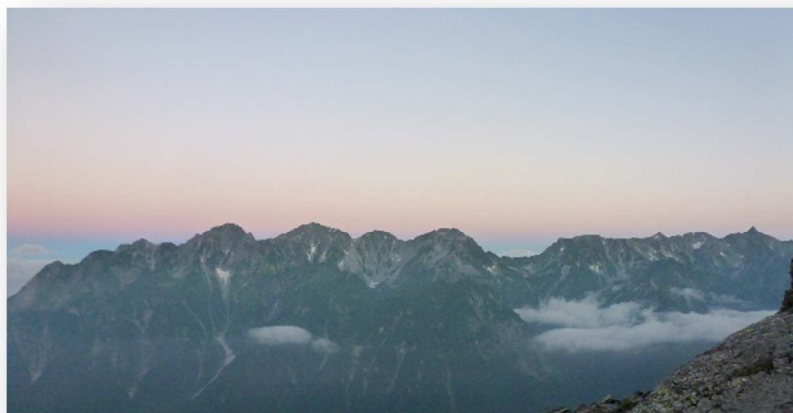
### 3.連絡その他

①暑気払い、忘年会などの食事会の出席キャンセルについて

当日不参加連絡の場合はキャンセルが出来なくなる場合がある。その会費は本人負担とする。

② 9月室内例会は、10月2日 19:30~に変更。 (記:橋本)

\*\*\*\*\*





# 西大和つうしん

第400号（2015年10月号）

2015年10月2日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>